

平成25年度事業報告

認証評価に関する海外調査報告

歯学教育認証評価検討WG座長

東京医科歯科大学 教授

荒木 孝二

平成25年度事業報告

歯学教育認証評価検討WG座長
東京医科歯科大学
荒木孝二

平成24年度大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)

プログラム: 基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成
取組名称: 歯学教育認証制度等の実施に関する調査研究

本事業は我が国の歯学教育の国際的な質の担保を評価するための認証評価基準の制定と、実際に認証評価を実施する取組である。歯学教育モデル・コア・カリキュラムと臨床実習開始前の共用試験によって、21世紀初頭の我が国の歯学教育改革は進展した。しかしこれらの歯学教育改革の大きな目標であった臨床実習の改善・充実については、目標通りに成し遂げられているとは言い難いのが現状である。また近年の諸事情により、臨床実習だけでなく高度専門職養成機関としての役割を果たせない大学が出てくる可能性を否定できない。そこで本事業では、我が国の歯科医師養成の質保証担保のために、歯学教育に特化した大学分野別評価についての調査研究を行い、国際標準の教育を行っていることを証明するための認証評価基準作りを行うとともに、複数大学においてトライアルとして認証評価を実施するものである。

連携5大学

東京医科歯科大学・新潟大学・東京歯科大学・大阪歯科大学・九州歯科大学

歯学教育認証評価検討WG 幹事会

5大学 5名

〈国立〉
東京医科歯科大学 荒木 孝二
新潟大学 前田 健康
〈公立〉
九州歯科大学 北村 知昭
〈私立〉
東京歯科大学 一戸 達也
大阪歯科大学 中嶋 正博

歯学教育認証評価検討WG

10大学 11名

〈国立〉
東北大学 高橋 信博
東京医科歯科大学 俣木 志朗
東京医科歯科大学 森尾 郁子
大阪大学 村上 伸也
岡山大学 窪木 拓男
広島大学 高田 隆
九州大学 平田 雅人
〈私立〉
北海道医療大学 斎藤 隆史
日本大学 中島 一郎
日本歯科大学 沼部 幸博
愛知学院大学 荒木 章純

3

大学改革推進等補助金「医学・歯学教育認証制度等の実施」事業

事業の目的

日本の医学部・歯学部が国際標準の教育を実施していることを証明するとともに、国際標準を超えるグローバルかつ優れた医師・歯科医師を養成するため、**日本における国際標準の医学・歯学教育認証制度等の基**

米国・英国で実施されている歯学教育認証基準が参考なると思われる

本補 学歯学部における**歯科医師養成の教育内容が国際標準に**して遜色ない水準であることを証明するため、**認証評価基準を作成し、実際にトライアルとして複数大学で認証評価を実施し、歯学教育認証制度を構築すること**である。国際標準の歯学教育内容を基準とした**認証制度の構築**が我が国

29歯科大学・大学歯学部全体で必要性の認識・理解・協力を得られるように努力の充実を図り、**本取組を我が国の歯科大学・大学歯学部全体の共通認識として拡充することにより、全ての大学が認証評価基準に到達し、我が国の歯学教育の国際的な質の担保を図ることが、本補助事業の目的である。**

日本独自の医療制度・人口構成の変化・社会的要請等に対して一定の考慮

我が国の歯学教育

WG幹事大学を中心にトライアルを実施する予定

会を立ち上げ本取組内容を構成する検討WGを

平成24年度の最終実績報告

- ①事業体制組織作りとして連携5大学(東京医科歯科大学、新潟大学、九州歯科大学、東京歯科大学及び大阪歯科大学)から幹事委員を選出し、認証評価検討WG幹事会を立ち上げた。さらに地域性、国公立大学の別を考慮して10大学(東京医科歯科大学、東北大学、大阪大学、岡山大学、広島大学、九州大学、北海道医療大学、日本大学、日本歯科大学、愛知学院大学)から11名の委員を選出して、認証評価検討WGを立ち上げた。
- ②認証評価検討WG幹事会を2回、認証評価検討WGを3回開催し、評価項目、評価基準案の策定の協議を行った。
- ③ドイツ、英国、マレーシア、香港及び米国での歯科医学教育に関する認証基準と認証評価の視察・調査を行い、本補助事業の取組の改善に反映させた。
- ④評価検討WG委員を対象としたワークショップを開催し(平成24年12月25日、26日)、評価項目、評価基準案の検討を行った。
- ⑤平成24年度の成果公表のためのシンポジウムを開催し(平成25年3月5日)、本取組の意義・目的および平成24年度事業活動実績を公開した。併せてシンポジウム出席者との意見交換を行い、評価基準案に対する意見の収集を行った。

平成25年3月5日開催 平成25年度事業報告シンポジウム
主な質疑内容

- ①機関別認証評価と分野別認証評価をどのように棲み分けるのか。評価項目の表現を工夫して欲しい。
- ②歯科医師国家試験との関連を考えて欲しい。
- ③認証評価WGという29歯科大学全体が参加していない中で、認証評価基準の決定をWGだけで決めて公開する前に、パブコメなど29歯科大学からの意見を十分くみ上げて欲しい。
- ④英国や米国とは医療制度などの仕組みが異なるので、そのまま日本に導入することは問題と思う。
- ⑤認証評価を行うために経費はどのようにするのか。
- ⑥GDCやCODAの運営費はどのようにになっているのか。どちらも連邦の関与はないのか。
- ⑦日本の歯学認証評価制度を構築するための、趣旨、目的、必要性などをきちんと決めて示すことが求められる。

平成25年度の事業活動報告

- ① 認証評価検討WG、認証評価検討WG幹事会の開催
平成25年 5月 9日：第1回認証評価検討WG幹事会 開催
平成25年 6月 3日：第1回認証評価検討WG 開催
平成25年 7月29日：第2回認証評価検討WG幹事会 開催
平成25年 9月17日：第3回認証評価検討WG幹事会 開催
平成25年12月17日：第4回認証評価検討WG幹事会 開催
平成26年 1月27日：第5回認証評価検討WG幹事会 開催
- ②10月19～20日：歯学教育認証評価基準策定のためのワークショップ開催
- ③4～8月：平成24年度に作成した認証評価基準の見直し
- ④8月：歯学教育認証評価実施組織の設置
- ⑤10～1月：歯学教育認証評価基準（幹事会案）の策定
- ⑥8～3月：諸外国での認証基準と評価の情報収集・歯科教育関係者と情報交換（主に国際歯科教育学会出席）
8月28日～ 8月31日：欧州歯学教育会議(ADEE)派遣
10月29日～11月 3日：米国歯科医師会年次大会(ADA)派遣
11月13日～11月18日：米国ハーバード大学歯学部・タフツ大学歯学部派遣
3月15日～ 3月18日：米国歯科医学教育学会(ADEA)派遣予定
- ⑦1月～：認証評価(トライアル)実施大学における自己点検評価の作成依頼(大阪歯科大学、九州歯科大学担当)
作成にあたって問題点の指摘、作成時の改善点等のコメントをもらう
- ⑧平成26年2月8日：平成25年度事業成果報告+国際認証評価関係者講演 シンポジウム開催

日本の歯学教育認証評価のあり方について

公開シンポジウム記録集

平成24年度大学改革推進事業
「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」プログラム



歯学教育認証評価検討WG

本事業のHP
<http://cermed.jp>

歯学教育認証評価検討WG 幹事会

5大学 5名
〈国立〉

東京医科歯科大学 荒木 孝二
新潟大学 前田 健康

〈公立〉

九州歯科大学 北村 知昭

〈私立〉

東京歯科大学 一戸 達也
大阪歯科大学 中嶋 正博

歯学教育認証評価検討WG

10大学11名
〈国立〉

東北大学 高橋 信博
東京医科歯科大学 俣木 志朗

東京医科歯科大学 森尾 郁子

大阪大学 村上 伸也

岡山大学 窪木 拓男

広島大学 高田 隆

九州大学 平田 雅人

〈私立〉

北海道医療大学 斎藤 隆史

日本大学 中島 一郎

日本歯科大学 沼部 幸博

愛知学院大学 荒木 章純

歯学教育認証評価検討WG 評価実施委員

10名 が就任

(WG委員:4名 大学関係者:4名

歯科関係識者 2名

9

諸外国での認証基準と評価の情報収集・歯科教育関係者と情報交換(主に国際歯科教育学会出席)

8月28日～ 8月31日

欧州歯学教育会議(ADEE)派遣

(英国・バーミンガム) (前田、北村)

10月29日～11月 3日

米国歯科医師会年次大会(ADA)派遣

(米国・ニューオーリンズ) (一戸、窪木、沼部)

11月13日～11月18日

米国ハーバード大学歯学部・タフツ大学歯学部派遣

(米国・ボストン) (荒木、鶴田*)

* オブザーバー

欧州歯学教育会議(ADEE) (英国・バーミンガム)

- メインテーマ「歯科におけるE-Learning」
- Dean's meeting:EU各国から42-43名の出席者
 - Strategic Planning for Change
 - Strategic and operational planning
 - Leading change
- Dent CPD
- Europe-CPD
Harmonization & Standardization of Continuing Professional Development for Graduate Dentists
- Four core compulsory CPD topics
 - Medical Emergencies
 - Cross-infection control
 - The medically compromised patient
 - Radiation protection(for those taking X rays using scanners)

欧州歯学教育会議(ADEE) (英国・バーミンガム)

- Three core recommended CPD topics
 - Healthy and safety
 - Pain management
 - Safeguarding children and vulnerable adults
- Special interest groups
 - (1) Towards a core Curriculum in basic science
 - (2) Lifelong learning DentCPD
 - (3) Special care dentistry
 - (4) Young educator forum
 - (5) Virtual reality in dental education
 - (6) African-European cooperation
 - (7) EDSA Research initiatives
 - (8) Assessment of clinical competencies in dentistry

米国歯科医師会年次大会(ADA)(米国・ニューオーリンズ)

ADA/CODA Open Hearing に出席

パネル:8名 出席者:約150名

テーマ

- 1) Accreditation Standards for Advanced Education Programs in General Dentistry
- 2) Accreditation Standards for Advanced Education Programs in General Practice Residency
- 3) Accreditation Standards for Advanced Specialty Education Programs in Oral and Maxillofacial Surgery
- 4) Accreditation Standards for Advanced General Dentistry Education Programs in Oral Medicine
- 5) Accreditation Standards for Dental Therapy Education Programs

Louisiana State University(LSU) 訪問 2013.10.30

- CODA Accreditation
7年に1回のsite-visit (前回は2009, 次回は2016)
現在self-study 中とのこと
- 米国での歯科医師免許取得のための試験
 - ①National Board Dental Exam part 1(基礎系の筆記試験)
 - ②National Board Dental Exam part 2(臨床系の筆記試験)
 - ③州ごとに異なる実技試験(State Board) - 受験者が自分で患者を用意する
 - ・North East Regional Board of Dental Examiners(NERB)
 - ・Western Regional Examining Board (WREB)
 - ・Central Regional Dental Testing Service (CRDTS)
 - ・Southern Regional Testing Agency (SRTA)
 各州ごとに上記の4実技試験機構の複数と提携している。

Louisiana State University(LSU) Q&A

1. Are there any case requirements during undergraduate clinical training? For example, "a student must (or should) experience 20 cases of root canal treatment or 10 cases of tooth extraction." Is there any table that explains these requirements?

Dental curricula in the US are now competency-based. In the past, there were specific courses, hours, experiences that were included as essential to receiving accreditation. Now, each school determines its own competencies (knowledge, skills, values) to be required of the students in that program and the accreditation process determines whether or not the school is providing the education, assessment and feedback to meet the stated competencies, whether or not the expected outcomes are met, and how the outcomes are used by the school to improve the program.

2. How many patients does one student give dental care in a day?

There is not stated requirement for the number of patients a student treats. Depending on the student's year (Dental 2, Dental 3 or Dental 4) and the treatment scheduled, students often see 2-4 patients a day.

3. Are there any lowest limits of clinical experiences proposed by CODA or set by the program at LSU? For example, "students should experience at least 5 cases of composite resin restoration before taking the state examination."

No



Tufts University 歯学部 訪問 2013.11.14

- 1学年190名(全米で2番目に学生数の多い歯学部)
臨床教育を重視したカリキュラム
→研究活動を活発化していく

方針

- カリキュラム改革の方向性
 - ICTを利用した効率的な教育活動
 - 講義録画を基としたFlipped Class
 - E-ポートフォリオ
 - SoftTests
 - カルテシステムaxiUmの活用
- 基礎科目・臨床科目を統合+垂直方向の統合教育
 - 1年生から4年生までの学年を通したグループの結成
 - 4年生:患者ケース+3年生:EBでの分析
 - +2年生:病態・異常からの分析+1年生:正常からの分析
- 他職種連携教育の充実



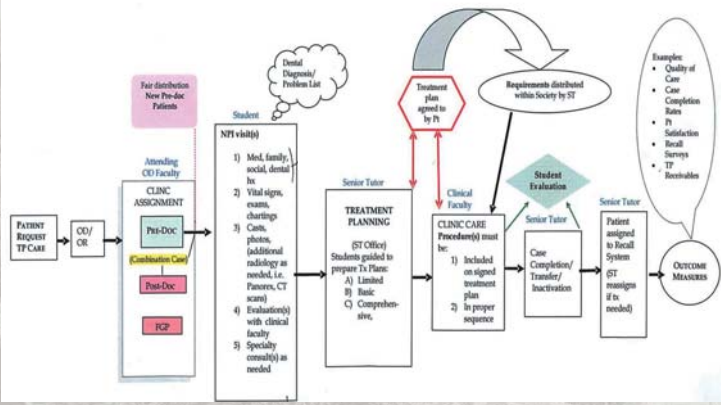
HARVARD University 歯学部 訪問 2013.11.15

- 1学年35名
 - ・伝統的に基礎口腔医学、研究に重きをおく
 - ・PBL チュートリアル教育中心
 - ・学生を4つのSocietyに分け屋根瓦方式のカリキュラム運営
 - 各SocietyにSenior Tutorを1名ずつ配置(Mentor役)
 - ・1.2年次の学生は医学部の学生と合同講義
 - 2015年度より医学部のカリキュラムが改変
 - 歯学部学生との合同講義を1年に短縮
- Harvard Dental Center
 - ・Faculty Group Practice
 - ・Teaching Practice-Pre-doctoral, Post-doctoral





HARVARD Pre-Doc Care Model



11:15	講演1. 座長 歯学教育認証評価検討WG委員/九州大学教授 平田 雅人 「Standard and Accreditation in Dental Education ;The Policy of GDC」 Patrick Kavanagh (Policy Manager, General Dental Council)
12:15	昼食休憩
13:20	講演2. 座長 歯学教育認証評価検討WG委員/広島大学教授 高田 隆 「Standard and Accreditation in Dental Education; The Policy of CODA」 Sherin Tooks (Director, Commission on Dental Accreditation)
14:20	講演3. 座長 歯学教育認証評価検討WG幹事委員/大阪歯科大学教授 中嶋 正博 「国際基準に基づく医学教育の質保証」 東京医科歯科大学医学教育システム研究センター教授 奈良 信雄
15:00	休憩
15:20	講演4. 座長 歯学教育認証評価検討WG幹事委員/九州歯科大学教授 北村 知昭 「進化する高等教育の質保証」 独立行政法人大学評価・学位授与機構 特任教授 川口 昭彦
16:00	歯学教育認証評価基準(案)と認証評価実施要項(案) 歯学教育認証評価検討WG幹事委員、新潟大学教授 前田 健康
16:30	総合討論 進行 一戸 達也